

# 事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	盛岡花火の祭典事業			事業コード	1558
所属コード	0132000	課等名	観光課	係名	
課長名	村山 悦男	担当者名	加藤 俊男	内線番号	3728
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

## 1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

### (1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード	4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード	1
予算費目名	一般会計 7 款 1 項 3 目 まつり・イベント振興事業 (004-01)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰越 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		開始年度	昭和 60 年度
根拠法令等				

### (2) 事務事業の概要

夏の風物詩「盛岡花火の祭典」の開催経費の一部を助成するもの（平成 23 年度は東日本大震災の影響により休止）。

### (3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

昭和 60 年に旧都南村の夏のイベントとして事業が開始された。

### (4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

明石市の花火大会の事故を契機に、交通規制・観客誘導に対する一層の強化が求められている。

## 2 事務事業の実施状況（Do）・・・・・・・・

### (1) 対象（誰が、何が対象か）

①花火の祭典実行委員会、②盛岡市民、③観光客

### (2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	21 年度 実績	22 年度 実績	23 年度 計画	23 年度 実績	26 年度 見込み
A 実行委員会構成団体数	団体	4	4	4	-	4
B 盛岡市民	万人	30	30	30	-	30
C 当該月観光客入込人数	千人回	451	442	455	-	465

(3) 23 年度に実施した主な活動・手順

東日本大震災の影響により盛岡花火の祭典は休止となった。

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	21 年度 実績	22 年度 実績	23 年度 計画	23 年度 実績	26 年度 目標値
A 花火の打上げ本数	発	10,000	10,000	10,000	-	10,000
B 実行委員会会議等での指導回数	回	6	5	5	1	3000
C 交通整理等の従事市職員数	人	12	11	10	-	10

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

- 1 市民・観光客がより楽しめる企画の実施。
- 2 花火観覧者数の増加。

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21 年度 実績	22 年度 実績	23 年度 計画	23 年度 実績	26 年度 目標値
A 花火の観覧車数	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	万人回	11	10	11	-	11
B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21 年度実績	22 年度実績	23 年度計画	23 年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	4,354	4,354	4,354	-
	⑤その他( )	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	4,354	4,354	4,354	-
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	70	60	50	-
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	280	240	200	-
計	トータルコスト A+B	千円	4,634	4,594	4,554	-
備考						

### 3 事務事業の評価 (See) . . . . .

#### (1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

##### ① 施策体系との整合性

観光客誘致及び豊かな市民生活に結びついている。

##### ② 市の関与の妥当性

市民や観光客が期待している夏の風物詩であり、現実的には協賛金のみでは運営が困難であるため、関与は妥当と考える。

##### ③ 対象の妥当性

事業実施者と観覧者（市民及び観光客）を対象としており、現状で妥当と考える。

##### ④ 廃止・休止の影響

市民及び観光客に定着しているイベントであり、影響が大きい。

#### (2) 有効性評価 (成果の向上余地)

より魅力あるものにするため、企画内容等の見直しの余地がある。

#### (3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

市民・観光客の豊かな生活に寄与するものとしての受益機会は、公平・公正であり適正である。

#### (4) 効率性評価

事業費（市の負担金）の削減や、人件費（市職員の応援）の削減は、花火の打上げ本数の減や人的対応が手薄になるなど、イベントの質そのものの低下に直結するため、現状維持が望ましい。

### 4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .

#### (1) 改革改善の方向性

新たな企画による魅力度の向上。他のイベントとの連携による実施。

従来事務局であった都南商工会が盛岡商工会議所と統合したことに伴い、同じ時期に商工会議所が事務局として開催している「盛岡さんさ踊り」との連携等を検討する。

#### (2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

前売指定席の販売をより周知し、売り上げの増加に取り組む。

### 5 課長意見 . . . . .

#### (1) 今後の方向性

☐ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）

■ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）

□ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

協賛金や指定席の販売の増加により収入の確保に努め、魅力ある内容に変更するなど、グレードアップを行い観客の増加を図る。